

PS ソリューションズ、ORACLE MASTER Platinum 資格取得者を育成し、ソフトバンクグループの通信事業を支える基幹システム構築に貢献



PS ソリューションズ株式会社
Tokyo, Japan
<http://www.pssol.co.jp/company>

インダストリー:
システムソリューション

資本金
1 億円
(2010 年 5 月現在)

オラクル製品とサービス:
ORACLE MASTER Platinum

“ORACLE MASTER Platinum は、取得することの効果がとても大きい。この資格は実機を使った厳しい試験をパスしなくてもなりませんが、それだけに取得者は高いプライドを持ちながら仕事をすることができますし、エンドユーザーや社内、また経営層に対するアピール力も高い。そしてその高い信頼が、ソフトバンクグループ全体の技術力向上にも貢献しています” PS ソリューションズ株式会社 システムソリューション事業部 テクノロジー・エバンジェリスト 関谷 雅宏氏

ソフトバンクモバイル株式会社、ソフトバンク BB 株式会社、ソフトバンクテレコム株式会社というソフトバンクグループ通信 3 社の重要なデータベースには、Oracle® Database をはじめとするオラクル製品が活用され、そのビジネスを支えている。ソフトバンクグループ通信 3 社の情報システム部門は、将来サービスの外販も狙えるエキスパート集団を育てる目的で、2010 年にオラクル製品に関する技術、知識について優れた力を持つエンジニアを集結させた。それが、PS ソリューションズである。

同社は、前身となったソフトバンク・ペイメント・サービスから 2010 年 9 月に分離／独立 するかたちで設立された。

高いレベルの実力を証明する ORACLE MASTER Platinum

ソフトバンク モバイル株式会社 情報システム本部 システム基盤統括部 統括部長の細田 靖氏は、通信会社のシステムでの保守業務は、効率化だけでなく「品質の維持」も重要な条件だと語る。

「手早く問題を解決するのはもちろんですが、想定外の問題に対しても冷静に対処する力が求められます。そのシステムのすみずみまで熟知していることに加え、現場で鍛えられた第一級の技術力、そして胆力も必要なのです。つまりすべての業務における高い品質が不可欠ということになります」

サポート業務において品質を向上させるには、優れた技術者の育成が不可欠。そこで PS ソリューションズが着目したのが、オラクルの認定資格制度「ORACLE MASTER Platinum」である。

システムソリューション事業部 テクノロジー・エバンジェリスト 関谷 雅宏氏は次のように話す。「ソフトバンクグループ通信 3 社の重要なデータベースを運用するにあたって、まずは社員に自信をもたせる必要がありました。PS ソリューションズの技術者は日常業務で厳しい業務に取り組んでいるほか、ハードな勉強会、トレーニングを積んでいます。その実力の証左として最適な資格を

取得効果:

- ORACLE MASTER Platinum の取得者が社内で順調に増えていくことで、本来持っていた高い技術力を証明でき、ビジネス面でもより高い信頼を得られるようになった
- ORACLE MASTER Platinum の取得のためにさらなる技術力向上訓練の効果が上がり、ソフトバンクグループ企業へのシステム面でのスキル提供など、質の高いサービス実現につながった
- ORACLE MASTER Platinum の取得者が多いことから、外部企業の協力体制も高いレベルのものになるようになった。これにより、ユーザーに対するサービス向上も実現した
- ORACLE MASTER Platinum 資格保持者の存在が組織全体のモチベーションと技術力の向上を促進している

探していました。

ORACLE MASTER Platinum は超の付く大手企業の技術者集団でも取得者数はそれほど多くない資格ですし、ヘッドハンティングがかかるほどのブランド力があります。協力企業や経営層に対してもアピールできる。これしかないと思いましたね」

難易度の高い資格の取得者を順調に増やし続けてきた理由

ORACLE MASTER Platinum 取得に向けた取組みは 2007 年秋頃、ソフトバンク・ペイメント・サービスの時代から始まった。「最初は、まったく手の届かないものだと思っていた」と語るのはシステムソリューション事業部 オラクル事業推進部 部長代行の山中健氏だ。

ところが、2007 年初回の挑戦で 2 名が合格。現在では PS ソリューションズの資格取得者は 10 名が ORACLE MASTER Platinum 10g 保持者で、オラクル製品を扱うエンジニア全員が ORACLE MASTER の資格を保有し最高峰の Platinum 取得を目指している。

IT 業界の経験が長く ORACLE MASTER Platinum の価値をよく知る経営層も、PS ソリューションズの技術者がもつ潜在的な高い能力を証明する結果として高く評価したという。

「初回に 2 名が合格したことが他の社員の意欲をかき立てたようです。彼らはレベルの高い技術の習得には普段から熱心ですので、大いに学びのモチベーションが上がりました。受験者は配属されて 2 年から 3 年で Platinum に挑戦する社員が多いですね。だいたい 2 回目までの挑戦で取得できています」（山中氏）

それにしても挑戦を開始して約 4 年弱でこれだけの成果を上げるのは並大抵のことではない。その秘密はどこにあるのだろうか。

「おそらく、日常業務に加えかなり厳しい社内勉強会でのトレーニングを続けているからだろうと思います」と関谷氏は説明する。

「社内勉強会は単なる徹底した実戦形式です。あらゆるケースのトラブルを作りだし、発見、解決をトレーニングします。そしてその結果のレポート作成も課します」

じつはこのレポート作成で苦勞する社員が多いそうだ。有事にはこのレポートが経営層や時には外部機関に提出されることになるので論理的でわかりやすい報告が求められる。つまりそうしたトレーニングで徹底した論理的思考と必要とされるアウトプット力が鍛えられるということなのだ。

この勉強会は ORACLE MASTER Platinum 取得のために実施されているのではなく、まさに業務の品質向上のために日夜おこなわれ



ソフトバンク モバイル株式会社
情報システム本部
システム基盤統括部
統括部長 細田 靖氏



PS ソリューションズ株式会社
システムソリューション事業部
オラクル事業推進部
部長代行 山中 健氏



PS ソリューションズ株式会社
システムソリューション事業部
テクノロジーエバンジェリスト
関谷 雅宏氏

ているものだ。だがこのトレーニングが図らずも ORACLEMASTER Platinum 取得に役立っているという。

「実際の ORACLEMASTER Platinum の試験には、実機を使ったトラブルシューティングが2日間にわたっておこなわれます。しかしそのレベルは相当に高いものです。現場で豊富な経験をしていない受験者だとかなり困惑すると聞いています。通常は不合格者のほうが多いといわれる ORACLE MASTER Platinum の試験で PS ソリューションズの社員に合格者が増え続けているのは、日常のトレーニングがかなり影響しているはずです」(山中氏)

ユーザーシステムの新規構築、品質改善で示した実力

チームの技術力の向上は、「エンドユーザーの満足度」という具体的な形になって表れた。

エンドユーザーであるソフトバンクモバイルの細田氏は「劇的な効果が出ている」と語る。その具体例として、ソフトバンクモバイルのビジネスの成長を支える携帯電話の申込受付システムにおける効果を説明した。「まず、障害が起きたときの原因の切り分けが早くなりました。重要度が高い障害について、一次回答までの時間が短縮されました。また、データベースに起因するクリティカルな障害件数は0件で、業務がストップする時間が激減しました」。「ビジネスの成長を支える重要なシステムを、優秀な技術者集団が守ってくれているという安心感は、何物にも代えがたい」と、細田氏は高く評価する。

また、最近では2010年カットオーバーした「CC&B」というソフトバンクグループ通信3社が使う基幹システムの構築でも効果を上げている。「Oracle RACの構築や、Oracle Database 11g R1の導入でもPSソリューションズの社員が大いに活躍してくれました。構築作業のみならず、性能検証などのサポートでもソフトバンクグループ通信3社の技術者と共同して仕事を支えてくれたと聞いています。PSソリューションズがリードしてくれるということは、ソフトバンクグループ全体の技術力向上をサポートすることにつながります」(細田氏)

この細田氏の評価を受けて関谷氏は次のように話す。

「通信企業の基幹システムは社会インフラを支える重要なシステムです。その構築にあたっては協力会社の力も借りますが、その後の保守、運用、改善などについては当該企業の技術者が中心となることが不可欠です。こうしたことを実現するために、当社は必要なスキルをユーザーに提供しています。このことでユーザーは他社の手を借りる必要なく、ある程度のシステム改善は自前でおこなうことができます」

保守作業をその都度おこなうことが PS ソリューションズの仕事ではない。長期的に効果の出るシステムサポートもできることが PS ソリューションズの強みだ。そしてその強みを内外に証明するのが ORACLE MASTER Platinum だともいえる。

ORACLE MASTER Platinum は、「取って終わり」の資格ではないと関谷氏は言う。取得までの過程で技術力が向上するだけでなく、取得後も変わっていく様子が見えるというのだ。

「ORACLE MASTER Platinum は、もっているだけで背筋が伸びる資格です。Platinum をもっていると、周りからも特別に見られますから、資格に負けないよう『いっそう技術力を磨かなくては』と思うようですね。今後は ORACLE MASTER Platinum 11g 取得者を増やしていく計画です」

普段取引している協力会社にもほどよい緊張感を与えているようで、同社社員と五分に協業できる技術力の高い担当者をつけてくれるという。

最高レベルの技術力を証明する ORACLE MASTER Platinum とその取得の効果を最大限に上げている PS ソリューションズ。今後も取得者は増え続け、さらなるブランド力向上が期待できそうだ。

(本事例は 2011 年 5 月のものです)